日立市立駒王中学校

Ⅰ　実践

1　実践テーマ

自分を大切にするとともに他の人の大切さを認めることができる生徒の育成

2　活動目標

（1）人間の尊さを理解し、差別や偏見のない明るい社会をつくることの大切さを認識できるようにする。

（2）人権意識を高め、差別や偏見をなくし、誰もが生きがいのある生活を送ることの大切さを理解し、実践できるようにする。

3　実践内容

（1）学校教育全体を通した実践

ア　あいさつ運動

生徒会やＪＲＣ委員会に所属する生徒を中心に年間を通して校内で「朝のあいさつ運動」を行っている。また、「さわやかマナーアップあいさつ運動」では、学区の小学校２校へ出向き、あいさつ運動を行っている。生徒同士だけでなく、地域の方にあいさつをすることで、地域の方と豊かな人間関係を形成する機会とした。

【中学校でのあいさつ運動の様子】

イ　「人権啓発ポスター」の掲示

昇降口等、生徒の目に入りやすい場所に「人権啓発ポスター」を掲示し人権意識の啓発を図っている。

【小学校でのあいさつ運動の様子】

ウ　夏休みの課題の出品

人権について考える機会として、夏休みに人権作文や書道コンクール等の課題を出し、コンクールにも出品した。

エ　各種調査による意識づけ

毎月の生活アンケートを行うことを通し、いじめや学校生活に関する悩み等を把握し、学校全体でいじめ撲滅への意識を高めた。

オ　ボランティアへの参加

ＪＲＣ委員会を中心に年間 10 回以上のボランティアの募集をし、全校生徒が年間１回以上自主的にボランティアに参加している。生徒アンケートでは、「年間１回以上ボランティアに参加している」と答えた生徒、12 月現在 80.6％である。又、外部が中心となるものとして、宮田学区コミュニティ推進会が毎月第２土曜日に実施している「土曜学校」に参加した。６月と 10 月には宮田川清掃に参加し、地域の方と保護者と 100 名以上の生徒が活動した。各活動に、熱心に取り組んでいくボランティア活動を通して、奉仕する心や協力し合う態度を養う機会となった。

【土曜学校の様子】

【宮田川清掃の様子】

【なかまるしぇの様子】

【中小路学区敬老会の様子】

カ　「いのちの教育」の実施

３年生を対象に「命の教室」を実施した。講師の先生を招き、生命の誕生や性感染症についての話、「これからの自己の生き方」について考える機会となった。

キ　「認知症サポーター養成講座」の実施

１年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施した。認知症にかかってしまった人の尊厳を守りながらサポートすることの大切さ、そのための方法について講話をいただいた。

【認知症サポーター養成講座の様子】

ク　「地域の人から学ぼう集会」の実施

１年生を対象に「地域の人から学ぼう集会」を実施した。特に日立市内を中心にボランティア活動を行っている「ＮＰＯ法人 ひたち夢元気プロジェクト」の方々からは、高齢者や子どもたち、障害をもった方々を支援することの大切さや、その活動が地域の人たちの喜びに変わっていることを教えていただいた。

ケ　生徒指導部員会の開催

毎週一回、生徒指導部員会（校長、教頭、生徒指導主事、各学年生徒指導担当、特別支援コーディネーター、養護教諭）を開き、いじめや問題行動について情報交換を行っている。共有した情報や検討した内容を各学年に伝達することで、全職員で共通理解ができるように、生徒の人権を守るための環境整備をしている。

４　成果

教育活動全体を通して人権意識の育成を図ってきた。年間を通したあいさつ運動により、生徒の方から元気にあいさつができるようになってきている。また、教師と生徒間だけでなく、生徒同士でもあいさつをする姿が当たり前になってきた。

授業実践では、道徳や学級活動、社会科などを通して、生徒が人権に対する知識や理解を深めることができた。各教科で積極的に「話合い活動」を取り入れることによって、周囲の思いや考えを知り、認め合うよい機会となった。

学区内のボランティア活動に積極的に参加することで、地域の人々の思いにふれ、地域を大切にしようという思いを高めることができた。生徒アンケートでも、「地域のよさに気づいている」と答えたのは 80.8％で、地域の人々の絆を深め、地域に住む一人の人間としての自覚を高めることができた。

Ⅱ　今後の課題

進んであいさつができる生徒が増えているが、登下校時以外ではあいさつができない生徒も見られる。必要な場面でしっかりあいさつをする習慣を身に付けさせていきたい。

多くの生徒は、学区内のボランティア活動に積極的に参加している。しかし、積極的ではない生徒もいるので、ボランティアへの参加や募金への協力など、趣旨をよく理解させたうえで、自主的に参加できるようにしていく必要がある。

また、人権について授業で話し合った内容を実生活に生かせるように、生徒が自分事として考えられる題材の選択と授業展開を研修していきたい。

Ⅲ　人権コーナーの設置の様子

５月に、人権コーナーを設置した。本校は教科教室型を採用していることを生かし、社会教室の付近の掲示スペースの一角に設置した。現在は社会科の授業と関連づけて、人権に関わるものとして、「人権の歴史」と「日本の領土」について紹介している。「人権の歴史」では、人権思想が台頭した時代のことから、日本に人権と民主主義が確立するまでの経緯や出来事、制定された条文などを紹介している。「日本の領土」では、来年度に向けて、領土問題の歴史やなぜ人権に関わるのかなどを紹介する予定である。

【人権コーナー全体の写真】